

#### 基盤活動助成とは・・・

本助成制度は、本大学における正課外の自主的な活動を継続する上で恒常的に必要となる活動経費の一部を助成することにより、課外自主活動の基盤を支えることを目的とした制度です。

### 1. 出願条件：①各申請費目において出願資格を有すること。②募集説明動画を視聴していること。 2. 募集説明動画

- ◆出願団体は必ず視聴ください（少なくとも1名）。動画内の表示「キーワード」が出願時に必要になります。
- ◆助成の採否に関わる【重要な内容】を説明します。疑問点・不明点があれば、下記メールアドレスまで連絡してください。
- ◆助成の内容や条件等について、不十分な理解で出願することは、不採用につながりやすくなります。
- ◆視聴される方はその内容について責任を持ち、自身の団体の関係者と共有してください。

#### 【募集説明動画】

(掲載 URL) 6月10日(水) 掲載予定 ※立命館大学奨学金・助成金ページにも掲載予定

### 3. 出願期間<厳守> 2020年6月15日(月)～2020年6月19日(金) 17:00まで

- ◆出願時に選択する「手続きキャンパス」で、その後の全ての手続きを行ってください。
- ◆出願後に内容に応じて、団体へヒアリングを行う場合があります。

NEW

### 4. 前年度の「春学期募集」からの大きな変更点

- ◆今年度の春募集は、WEB申請（一部団体はあわせてメール申請）が必須になります。募集説明動画にて詳細を説明しますので、内容をよく確認の上、出願してください。

#### 【注意点】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点について注意してください。

- ◆助成が決定された場合でも、活動時期において新型コロナウイルス感染拡大状況により、本学の行動指針(BCP)に基づき、当該活動の中止・自粛を求める場合があります。その場合は中止された活動(プロジェクト全体、もしくはその一部)について、助成の対象とはしないこととします。
- ◆プロジェクト実施までに活動の再開が認められている団体を対象とします。
- ◆感染拡大防止やコロナ禍での新しい生活様式に対応したものかどうかについても、審査の対象となります。
- ◆「募集説明動画掲載時期」、「出願期間」、「採用発表・説明会」等の各スケジュールの延長・延期や再募集の可能性がります。
- ◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンパスに来なくても質問・申請・面接等ができるようにしています(窓口での対応不可)。
- ◆WEBやメール上のコミュニケーションが多くなるため、学生部からの返信や連絡等は時間を要する可能性があります。ご連絡から3授業日以内が対応の目安となることを予めご了承ください。

< 出願にあたっての質問・相談 >

【質問/出願 学内メールアドレス】

(体育会) [bkcsport@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bkcsport@st.ritsumei.ac.jp) (体育会以外) [bungei@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bungei@st.ritsumei.ac.jp)

・衣笠学生オフィス(研心館2階) 075-465-8167 ・BKC学生オフィス(セントラルアーク1階) 077-561-3917

・OIC学生オフィス(A棟南ウィング1階) 072-665-2130

・スポーツ強化オフィス(BKCアスリートジム1階) 077-561-3977

◆ **出願時に選択する【手続きキャンパス】でその後の全ての手続き（以下の枠内）を行ってください。**

(例)・問い合わせ / 相談 ・出金手続必要書類（出金依頼書、領収書・その他証憑、振込口座届 等）の提出  
・申請内容変更願の提出 ・手続延期申請・繰越執行申請書の提出  
・決算手続必要書類（支出報告書、成果報告書 等）の提出 ・戻し入れ

## 1. 出願資格

以下の (1) ~ (6) のいずれかに当てはまる団体。

- (1) 学友会中央常任委員会・各本部（体育会本部・学術本部・学芸総部本部）
- (2) 学友会各学部自治会または自治委員会内の各種団体（以下、各学部自治会）
- (3) 学友会中央事業団体（体育会[公認団体・同好会]、放送局、新聞社）
- (4) 全学自治会学術部（以下、学術部）公認団体、同好会、任意団体
- (5) 全学自治会学芸総部（以下、学芸総部）公認団体、同好会、任意団体
- (6) 学生部長が認めた団体（以下の団体）

理工学部プロジェクト団体ロボット技術研究会、理工学部プロジェクト団体内燃機部研究会、

理工学部プロジェクト団体 RiSA、情報理工学部プロジェクト団体 RiPPro、情報理工学部プロジェクト団体 RiG++、

薬学部プロジェクト団体薬学研究会（やくけんR）、経営学部丹後村おこし活動チーム、

京北プロジェクト、法交渉学研究会、クイズソサエティ、サイクリング同好会、プロレス同好会、放浪同好会、民主青年同盟

※ **学友会所属でも「登録団体」区分の団体（上記（6）除く）は出願できません**（公認団体・同好会・任意団体は可）。

※ **今年度の学友会に継続手続きができていない団体は出願できません。**

※ 活動停止の処分を受けた団体は、処分の期間が含まれる年度は出願をすることができません。

※ 立命館大学課外自主活動団体助成「重点強化助成」の対象団体は出願することができません。

## 2. 出願にあたっての注意事項

### (1) 併給不可

「立命館大学課外自主活動団体助成制度（プロジェクト助成）」と**同一の出願内容**と判断される場合、本制度と重複して**助成を受けることはできません。同一年度のプロジェクト助成の審査において、基盤活動助成の受給決定内容と同じものがあつた場合は不採用とします。**

### (2) 助成対象団体について

助成の対象となる**費目によって助成金を受給できる団体が異なります**。また助成金には**上限の金額**や**回数制限**があります。

## 3. 助成の対象となる費目

- (1) 備品購入費 P.4
- (2) 交通費 (①大会、試合等 P.5 ②フィールドワーク P.7 ③遠征および合宿 P.7)
- (3) 指導者招聘費 P.8
- (4) 安全管理対策費 P.9
- (5) 施設使用料 P.9
- (6) 大型備品運搬費 P.10
- (7) 保険加入料 P.10
- (8) 印刷費 P.10
- (9) 学部プロジェクト活動費 P.11

## 4. 助成団体の義務

- (1) **活動終了後速やかに「①出金依頼書、②活動経費に係る領収書（・その他の証憑）、③成果報告書」**を学生部窓口へ持参して手続きを行うこと。なお、上記③は、複数費目助成を受けている場合も、1枚にまとめて提出してください。

( ◆ **学生部窓口での事前確認 [2月中旬まで実施分] < 2021年2月26日 (金) 17時まで > 、**

**◆ 学生部窓口への提出締切 < 2021年3月5日 (金) 17時まで > ) 。**

※ **複数費目で採用された場合も、成果報告書は1枚にまとめて提出。**

※ **学部プロジェクト活動費は、上記②、③に加え（助成金額に残額がある場合のみ）本大学への戻入（戻入も含め、上記締切<2021年3月5日 (金) 17時まで>に完結させて下さい）。**

- (2) (本大学から求められた場合) 成果物（ポスター等）を作成しての成果発表

## 5. 助成対象期間

対象期間は2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)としますが、2020年度の助成金の決算作業を当該年度中に終わらせる必要があるため、**【2021年3月5日(金)17時まで】**に上記「4. 助成団体の義務(1)」の手続きが終わるようにしてください。なお、決算資料・証票の内容によっては助成の対象とならない可能性があります(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学生部からの自粛要請に関するもの等)。

◆上記日時(2021年3月5日(金)17時)は、提出すべき**決算資料・証憑の提出**、助成金残額の**戻し入れ**作業が**【全て完了する締切日】**となります。

①**活動終了次第、速やかに決算資料を完成(2週間以内目安)**させてください。

②資料の不備や漏れの有無がないかについて、**最終提出前に必ず1度**、学生オフィス/スポーツ強化オフィス(以下、学生部)にて**事前確認**を行ってください。

③遅くとも**【2021年2月26日(金)17時まで】**に学生部と決算資料の事前確認を終了させてください(2月中旬頃まで実施分対象。それ以降は終了次第速やかに学生部まで提出してください。なお、場合によっては、2021年2月26日以前に中間決算を複数回求める場合があります)。

◆次年度繰越申請 / 戻入手続き延期申請を行う場合の確認事項について

①決算が2021年3月5日(金)17時までに終了するよう企画実施日を前倒しできないか調整してください。

②上記①が、大会等の実施で難しい場合、先に全ての出金手続きを済ませ、期日である3月5日(金)17時までに学生部に決算資料・証憑の提出、戻し入れができないか検討してください。

③上記①及び②がどうしても難しく、やむを得ず**2021年3月5日(金)**をこえた決算手続きの申請を希望する場合、下記書類を以下の提出締切日までに学生部に相談の上、提出してください。なお、下記の提出締切までの提出が難しい場合は、必ず事前に学生部窓口に相談してください。

○ 出金手続きを行う場合：**「次年度繰越執行申請書」** ○ 戻入手続きを行う場合：**「戻入手続延期申請書」**

**どちらも提出締切日：2020年12月11日(金)**

## 6. 出願について

奨学金・助成金制度 WEB ページ掲載の **WEB (一部団体はあわせてメール) 申請** が必要です。

(1) **WEB 申請 必須** **【締切】2020年6月19日(金)17時**

下記 URL からアクセス、必要事項(共通項目+申請希望費目項目)入力。

**< URL > 2020年6月15日(月)公開予定**



NEW!

※WEB 申込は各団体一度しかできません。ご注意ください。

※奨学金・助成金 WEB ページに WEB 申込フォーム内容をアップします(2020年6月10日(水)公開予定)。当該フォームを活用し、必ず各団体で内容を下書きした上で WEB 申請してください。また、下書き内容は採用発表まで記録として必ず手元で大切に保管してください。

(2) **メール申請 当該団体のみ** ※教職員の部長・副部長・顧問が配置されている団体のみ対象

**「部長・副部長・顧問(教職員)推薦書」** **【締切】2020年6月19日(金)17時**

▶ 提出は学生団体からでなく、**教職員の部長・副部長・顧問が、ご本人の<学内アドレス>から**下記の**<質問/出願 学内メールアドレス>**へ申請してください(京北プロジェクト・法交渉学研究会のみ顧問に加え、学部長(学部ご担当者)からの推薦文があわせて必要になります。

※ 学友会の公認団体・一部団体には教職員の部長・副部長・顧問が配置されています。配置の有無や連絡先等が不明な場合、学生オフィス/スポーツ強化オフィスに問い合わせてください。

★**学生部からの申込完了メール返信(登録から3授業日以内)をもって WEB 申請登録の完了となります。**

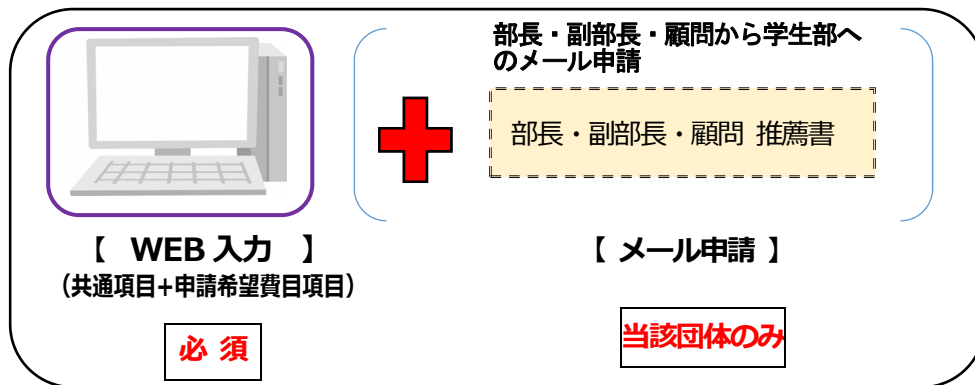
登録完了メールを受信できない場合は、登録完了していませんのでご注意ください。

★例年、締切間際の出願が数多くあります。慌てて出願したことで入力操作を誤り、出願未完了になった場合、その事実を知るタイミングは締切を過ぎた数日後(申込完了メールが届かない事に気づく頃)になります。くれぐれも余裕をもって出願してください。

★**申請すべき内容が1つでも足りない場合は、申請完了とみなしません。ご注意ください。**

**< 質問/出願 メールアドレス >**

**(体育会) [bkcsport@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bkcsport@st.ritsumei.ac.jp) (体育会以外) [bungei@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bungei@st.ritsumei.ac.jp)**



P. 4～「9.各費目の詳細」を参照ください。

・奨学金・助成金制度ホームページに詳細掲載 <http://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/grow.html/>

在学生のページ → 奨学金制度 (学部) → 課外での成長を支援する奨学金・助成金 → What's new



## 7. 査定方法

申請内容に基づき、査定します。

\*各費目の詳細についてはP.4～「9.各費目の詳細」を参照してください。

\*上記のとおり、奨学金・助成金 WEB ページに WEB 申込フォーム内容を掲載します。当該フォームを活用し、必ず各団体で内容を下書き・記録し、その内容は学生部からのヒアリング等に備え、採用発表まで必ず手元で大切に保管してください。

## 8. 助成方法

領収書 (団体名での発行分)、その他の証憑に基づき、査定金額を指定口座に振り込みます。

\*但し (3) 指導者 (4) 安全管理対策費 (9) 学部プロジェクト活動費は留意事項が多いため、P.4～「9.各費目の詳細」を参照してください。

## 9. 各費目の詳細

※各費目の **上限〇万円** とは助成金額の上限であり、申請金額の上限ではありません。

### (1) 備品購入費 **原則 上限 10 万円**

#### 1) 対象団体

- 中央常任委員会・各本部(体育会本部・学術本部・学芸総部本部) ●各学部自治会 ●中央事業団体 (体育会[公認団体]・放送局・新聞社) ●学術部(公認団体) ●学芸総部(公認団体)

※ 同好会・任意団体・登録団体は対象外

#### 2) 対象となるもの

- ・1点が**合計 20 万円以上**の備品購入費用 \*見積金額の証憑を必ず保管・提出してください。
- ・**構成される全ての備品が単価 1 万円以上、かつ合計金額が 20 万円以上の備品一式** (当該の場合 1 団体 10 万円)
- ・**消耗品 (耐用年数 1 年未満のもの) や個人に帰属する備品は対象外**とします。
  - ※ 申請時に 20 万円以上の備品一式でも、審査により一部不採用となり 20 万円を下回った場合、全ての備品の助成が不採用となります。
  - ※ 原則、購入した備品の保管場所は部室やクラブ倉庫等とします。
  - ※ 学術部・学芸総部の団体が文献を備品購入費として申請する際は、顧問の文献推薦所見を必要とします。
  - ※ 原則、箱等に複数の備品が入った状態の価格を単価とみなしません(箱等でしか数えることのできない場合除く)。

- ※ 備品に対し、複数の販売元からの見積書の提出を求め、最も安価に購入できる販売元からの購入を認めます。  
また、決算時には、①申請時と同一商品であること（品番等確認）②採用時に購入を認められた販売元で購入していることの2点を助成条件とします。

### 3) 助成内容

- ・申請金額の1/2相当額。 ※100円単位以下四捨五入  
1団体あたりの年間助成上限10万円（但し、備品の耐用年数、使用頻度等を総合的に審査した上で、1団体あたり年間助成上限60万円とすることがあります）。

### 4) 助成対象となった備品の管理

- ・本費目の助成受給団体は、助成を受給し購入した備品について、次年度以降に「備品管理リスト」（毎年4月頃学生部配布予定）にて確認・更新の上、活用状況を学生部窓口へ報告することを求めます。なお、次年度に基盤活動助成を申請する際は出願時、申請しない場合は5月中に提出することを義務づけます。次年度の「備品管理リスト」提出に備え、紛失等のないよう団体内で備品の管理は徹底してください。
- ・「備品管理リスト」での必須管理期間は、願書に記載した各備品の「耐用年数分」とします。
- ・今回の助成申請団体のうち、2017年度以降に本助成の備品購入費、学部プロジェクト活動費（備品費）受給団体に「備品管理リスト」をmanaba+Rにて連絡先担当者（WEB申請時の登録学生）に2020年6月中にお送りしますので、2021年3月5日（金）17時の決算締切までに提出してください。

### 5) 出願について

- ① WEB申請 [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「備品購入費欄（備品の規格や内容の資料+見積書[購入予定先発行分を含めた、複数の販売元からのもの] or 備品の金額がわかる資料 [出願時点で20万円以上の備品のみ対象]+備品管理リスト含む) (+ ②メール申請 [部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ] ) ]

- ※ 上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。

## (2) 交通費（大会、試合等、フィールドワーク、遠征および合宿）

「大会、試合等」は、近畿圏以外で実施される以下の活動および団体を助成対象とします。

※ 近畿圏は、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県とします。

- ◆①公共交通機関の利用、②学割または団体割引の利用を原則とします（通常料金で提出された場合、学割や団体割引との差額は助成対象外となります）。1区間の乗車距離（乗換不可）が100Km以上の場合、自由席特急料金も助成します（指定席特急料金は助成不可）。

- ◆原則、団体として拠点駅から目的地までの往復をまとめて行動することを前提とします。

- ◆交通費内の区分【①大会、試合等 ②フィールドワーク ③遠征および合宿】の定義については、

P.14 別紙（フローチャート） を参照して下さい。

### ①大会、試合等 上限100万円 近畿圏内 不可

#### 1) 対象団体

- 中央常任委員会・各本部（体育会本部・学術本部・学芸総部本部）
- 中央事業団体（体育会[公認団体・同好会]・放送局・新聞社）
- 学術部(公認団体・同好会・任意団体) ●学芸総部(公認団体・同好会・任意団体)
- その他（クイズソサエティ、サイクリング同好会、プロレス同好会、放浪同好会、民主青年同盟）

#### 2) 助成の対象となるもの

- ・近畿圏以外で実施される西日本大会以上の大会試合等の交通費（宿泊費不可）。
- ・他大学と長年にわたり交歓演奏会、交流研究会等を実施している定期交流の交通費（過年度に採用されたもの）。

### 3) 助成内容

**次のうちいずれか低い額を助成** (100円単位以下四捨五入)。但し、1団体あたりの年間助成 **上限 100万円**。

- ① **領収書にもとづく実費申請金額 (\*1) の4/5 相当額**
- ② **規定経路 (\*2) により算出した額の4/5 相当額**
- ③ **大会、試合等の種類及び参加人数により算出した別に定める額** (別表1参照)

[別表1] 人数による助成上限

(単位: 万円)

区分/人数 (*3)	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-50	51以上
国際大会 (*4)	10	20	30	40	50	60	100
全国大会・西日本大会(*5)	10	20	30	40	50	60	100
上記以外	5	10	15	20	25	30	35

- (\*1) 公共交通機関を使用できない場合は、タクシーや貸切りバス、レンタカーの費用 (必ず事前に学生オフィスまたはスポーツ強化オフィスに要相談)。**団体として拠点駅からまとまって行動すること**を原則とします。
- (\*2) **キャンパスごとに設定された起点駅** (衣笠: JR 円町駅 BKC: JR 南草津駅 OIC: JR 茨木駅) から大会、試合等の**会場の最寄り駅**までの往復交通費。**公共交通機関の利用**を原則とし、**経済的かつ合理的な経路および方法**での交通手段で査定します。
- (\*3) 人数の算出根拠は、**大会主催者へ登録を行なった登録メンバーおよび大会運営に必要な学連等の役員の人数** (マネージャーは試合・大会運営に必要な場合のみとします)。
- (\*4) 連盟や協会などの選抜により国際大会等に出場する場合は、[別表1]に係らず、実費交通費の4/5とする。また、1人あたり10万円を上限とする。事前に学生オフィスまたはスポーツ強化オフィスに相談があることを条件とし、対象は学生部が判断を行う。なお、助成対象は、①国外に出発した空港までの交通費、②国外に出発した空港からの目的地のある国で最初に到着した空港までの交通費とする。
- (\*5) 予選や選抜試合の無いフリーエントリー形式の全国大会・西日本大会は「上記以外」とします。
- ※ 日本代表合宿、日本代表選考のための事前合宿等、「合宿」参加への交通費助成は不可。あくまで大会、試合等の参加交通費助成とする。

### 4) 出願について

- ① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「大会、試合等交通費欄 (出場する大会の要項含む) (+ ②メール申請 [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] ) ]

※ **上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。**

### 5) 特別な対応について

- 「交通費 大会、試合等 特別願書」について (「前年度『交通費 大会、試合等』助成受給団体」のみ対象)  
**前年度助成対象となった「交通費 大会、試合等」について、大学から「交通費 大会、試合等 特別願書」を当該団体にデータにて送付**します。**manaba+Rにて連絡先担当者 (WEB 申請時の指定学生) に【2020年6月10日(水)までにお送り**しますので、「交通費 大会、試合等」費目欄の **WEB 申請の際に提出**してください。当該の大会、試合等のカテゴリーに変更がない場合、継続申請扱いの手続きとなります。

< 出願について >

- ① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「大会、試合等交通費欄 (交通費 大会、試合等 特別願書、出場する大会の要項含む) (+ ②メール申請 [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] ) ]
- ※ **上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。**

※ 新たな大会、試合等に出願する場合は、上記の「4) 出願について」に記載の出願が必要です。

- 「春学期 (及び秋学期) 募集期間中に申請できなかった西日本以上の大会、試合等」について  
 大会区分の上限などの交通費助成における条件を満たしている場合に限り、**募集期間外でも選考の上、助成**することがあります。ただし、**対象となる大会、試合等の概要や出場が判明次第、必ず開催前までに申し出てください。大会、試合等が終了した後の申請は受付できません。**

## ②フィールドワーク **上限 30 万円** **年 2 回** **近畿圏内可**

### 1) 対象団体

- 中央常任委員会・各本部（学術本部・学芸総部本部） ●中央事業団体（放送局・新聞社）
- 学術部(公認団体・同好会・任意団体) ●学芸総部(公認団体・同好会・任意団体)
- その他（クイズソサエティ、サイクリング同好会、プロレス同好会、放浪同好会、民主青年同盟） ※ **体育会は対象外**

### 2) 助成の対象となるもの

#### ・フィールドワークの交通費（宿泊費不可）

※ 近畿圏内も対象になります。

※フィールドワークとは

学術研究等をする際に、そのテーマに即した場所（現地）を実際に訪れ、その対象を直接観察し、関係者には聞き取り調査やアンケート調査を行い、そして現地での史料・資料の採取を行うなど、学術的に客観的な成果を挙げるための調査のことを指します。

### 3) 助成内容

**次のうちいずれか低い額を助成**（100円単位以下四捨五入）。但し、1団体あたり年間助成**上限 30 万円**。 ※**年 2 回まで**

#### ①領収書にもとづく実費申請金額の 4/5 相当額

#### ②規定経路により算出した額の 4/5 相当額

※**キャンパスごとに設定された起点駅**（衣笠：JR 円町駅 BKC：JR 南草津駅 OIC：JR 茨木駅）からフィールドワーク**実施地の最寄り駅**までの往復交通費。**公共交通機関の利用**を原則とし、**経済的かつ合理的な経路および方法**での交通手段で査定します。

※公共交通機関を使用できない場合は、タクシーや貸切りバス、レンタカーの費用（必ず事前に学生オフィスに要相談）を上記①として認める場合があります。

※**団体として拠点駅からまとまって行動すること**を原則とします。

### 4) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「フィールドワーク交通費欄（**実施概要説明資料**＜自由書式 [フィールドワーク名・実施日時・場所（住所・最寄駅）・参加人数（内訳）・実施内容・スケジュール・交通手段記載必須）含む ] ] (+ ②**メール申請** [ 部長・副部长・顧問 推薦書/**当該団体のみ** ] )

※ **上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。**

## ③遠征および合宿 **上限 20 万円** **年 2 回** **近畿圏内可**

### 1) 対象団体

- 中央常任委員会・各本部（体育会本部・学術本部・学芸総部本部） ●各学部自治会
- 中央事業団体（体育会[公認団体・同好会]・放送局・新聞社） ●学術部（公認団体・同好会・任意団体）
- 学芸総部（公認団体・同好会・任意団体）
- その他（クイズソサエティ、サイクリング同好会、プロレス同好会、放浪同好会、民主青年同盟）

### 2) 助成の対象となるもの

#### ・遠征および合宿の交通費（宿泊費不可） ※近畿圏内も対象になります。

### 3) 助成内容

**次のうちいずれか低い額を助成**。（100円単位以下四捨五入）但し、1団体あたり年間助成**上限 20 万円**。 ※**年 2 回まで**

#### ①領収書にもとづく実費申請金額の 1/2 相当額

#### ②規定経路により算出した額の 1/2 相当額

※**キャンパスごとに設定された起点駅**（衣笠：JR 円町駅 BKC：JR 南草津駅 OIC：JR 茨木駅）からフィールドワーク実施地の最寄り駅までの往復交通費。**公共交通機関の利用**を原則とし、**経済的かつ合理的な経路および方法**での交通手段で査定します。

※公共交通機関を使用できない場合は、タクシーや貸切りバス、レンタカーの費用（必ず事前に学生オフィスに要相談）を上記①として認める場合があります。

※**団体として拠点駅からまとまって行動する**ことを原則とします。

4) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「遠征および合宿交通費欄(しおり・計画表等[ある場合のみ]含む)」 ]  
 (+ ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] )

※ **上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。**

**(3) 指導者招聘費** **上限 20 万円 (諸税込)** **同一指導者 上限 10 回** **1 回 上限 5 万円 (諸税込)**

1) 対象団体

- 学友会中央常任委員会・各本部(体育会本部・学術本部・学芸総部本部) ● 各学部自治会
- 中央事業団体(体育会[公認団体]・放送局・新聞社) ● 学術部(公認団体) ● 学芸総部(公認団体)

2) 対象となるもの

・年間計画に基づき実施する合宿等の機会に**招聘する指導者(\*1)への謝礼(短期間における指導)**。

(\*1)指導者は本学園に籍を置く学生、本学園を主な収入源とする教職員等、また、本学の卒業生を除きます。

但し、特段の事情がある場合、本学卒業生を対象とした本制度による招聘費の申請を認める場合があります(実績や資格等、招聘者が指導者として適切な要件を満たしていることが必要)。

3) 助成内容

**申請金額の相当額**。但し、短期間における指導を対象としているため、以下の上限があります。

- ・1 団体あたりの年間上限は **20 万円 (諸税込)** ・招聘する指導者 1 名につき 1 回上限は **5 万円 (諸税込)**
- ・**同一の指導者**による指導は年間上限 **10 回**

4) 助成方法・留意点

・助成金を執行する謝礼の支払い分のみ、大学が諸税処理を行い、「20 様式⑤ 指導実施報告兼指導料請求書」に基づき、**指導者名義の指定口座への直接振込を原則**とします(※法人名義での請求・法人口座への支払いの場合等を除く)。

・謝礼金は課税対象となるため、手取り額に対して 10.21%分の諸税額を上乗せして支払う必要があります。

**諸税額分は採用された助成金から執行する**ため、諸税額を含めた予算計画が必要です。[別表 2] 参照

(支払回数によって謝礼総額が異なる場合があるため、採用額は 100 円以下切り上げとなった予算総額となります。)

例) 支払総額(諸税込) — 諸税 = 指導者の手取り  
 ( 11, 137 円 ) ( 1, 137 円 ) ( 10, 000 円 )



\* 謝礼は税金(=諸税)が引かれるため、**指導者**が受取る手取りが少なくなります。

[別表 2] 指導謝礼支払総額算出の例> 『**手取り金額÷0.8979=支払金額(諸税込)**』

謝礼(指導者の手取り額)	諸税必要額	支払総額
10,000 円	1,137 円	11,137 円
20,000 円	2,274 円	22,274 円
30,000 円	3,411 円	33,411 円
40,000 円	4,548 円	44,548 円
50,000 円	5,685 円	55,685 円

※支払総額において小数点以下は切捨てとする。



6) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「指導者招聘費欄 (指導謝礼支払計算書 含む)」 ]

(+ ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] )

※ 上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。

**(4) 安全管理対策費** **上限 20 万円** **同一講師 上限 2 回** **1 回上限 5 万円 (諸税込)**

1) 対象団体

- 中央常任委員会・各本部(体育会本部・学術本部・学芸総部本部) ●各学部自治会
- 中央事業団体 (体育会[公認団体・同好会]・放送局・新聞社) ●学術部 (公認団体・同好会・任意団体)
- 学芸総部 (公認団体・同好会・任意団体)
- その他 (クイズソサエティ、サイクリング同好会、プロレス同好会、放浪同好会、民主青年同盟)

2) 対象となるもの

- ・団体が年間計画に基づき実施する安全管理に関する①講習会のための講師の招聘費と②講習会への学生の参加費。
- ・講師を招聘する場合、本学園に籍を置く学生、本学園を主な収入源とする教職員等、また、本学の卒業生を除きます。但し、特段の事情がある場合、本学卒業生を対象とした本制度による招聘費の申請を認める場合があります (実績や資格等、招聘者が講師として適切な要件を満たしていることが必要)。

3) 助成内容

申請金額の相当額。但し、以下の上限があります。

- ・1 団体あたりの年間**上限 20 万円 (講師招聘費の場合は諸税分含む)**。
- ・講師を招聘する場合は 1 名につき 1 回の申請ごとに**上限 5 万円 (諸税込)**。
- ・同一の講師による指導は**年 2 回**までとする。

4) 助成方法

- ・参加費は、団体名発行の領収書に基づき、査定された金額を執行します。
- ・講習会の開催等で講師を招聘する場合の支払いは証憑 (指導報告および請求書等) に基づき、講師名義の指定口座に助成金額を大学が直接振り込むことを原則とします (※法人名義での請求・法人口座への支払いの場合等を除く)。講師への支払いは助成金を執行する謝礼の支払い分のみ、大学が諸税 (P8 別表 2 参照) 処理を行い、講師へ直接振り込みます。なお、助成金額の上限には源泉徴収額 (10.21%) を含みます。  
\*詳細については P.8 (3) 指導者招聘費を参照。

5) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「安全管理対策費欄 (講師謝礼を含む場合のみ「指導謝礼支払計算書」含む)」 ] (+ ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] )

※ 上記① [(1)~(2)] に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。

**(5) 施設使用料** **上限 80 万円** \*対象団体制限有

1) 対象団体

- 体育会(公認団体[水泳部・アイスホッケー部・スケート部・スキー部])

2) 対象となるもの

- ・学外練習場等の施設使用料。

3) 助成内容

- ・申請金額の相当額。但し 1 団体あたりの年間助成**上限 80 万円**。

4) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「施設使用料欄」 ] + ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ]

※ 上記① [(1)~(2)]、② に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。

**(6) 大型備品運搬費** **上限 80 万円** \*対象団体制限有

1) 対象団体

- 体育会(公認団体[航空部・ヨット部・カヌー部・ボート部・馬術部・自動車部])
- 学芸総部 (公認団体[JAZZ CLUB])
- 大会出場にあたってトラックでの運搬が必要となる団体  
→ 中央事業団体 (体育会[公認団体]・放送局・新聞社)、学術部(公認団体)、学芸総部(公認団体)

2) 対象となるもの

- ・「大会試合等交通費」の対象となる大会試合等 (近畿圏外) において **大型備品の運搬に要する費用**。

3) 助成内容

**申請金額の 2/3 相当額**。 ※100 円単位以下四捨五入。

但し、1 団体あたりの年間助成 **上限 80 万円**。

4) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「大型備品運搬費欄」 ] + ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ]

※ 上記① [(1)~(2)]、② に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。

**(7) 保険加入料** **上限 5 万円** \*対象団体制限有

1) 対象団体

- 体育会(公認団体[山岳部・航空部・ヨット部・スキー部・自動車部]) ●学術部 (公認団体[探検部])

2) 対象となるもの

活動するために必要な **保険加入料**。

3) 助成内容

申請金額の **1/2 相当額**。 ※100 円単位以下四捨五入

但し、1 団体あたり年間助成 **上限 5 万円**。

4) 出願について

① **WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「保険加入料欄」 ] + ②**メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ]

※ 上記① [(1)~(2)]、② に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。

**(8) 印刷費** **上限 10 万円** \*対象団体制限有

1) 対象団体

- 学術部公認団体

2) 対象となる出版物

- ①活動総括、論集等
- ②年間活動のまとめ・論集を発行し、理論還元活動を行うもの。  
※**年 1 回(1 点)**に限る。 ※販売目的や利益を求めるものは不可。  
※助成を受け完成した出版物は学生部に 1 部提出を行う。

### 3) 助成内容

申請金額の **2/3 相当額**。 ※100 円単位以下四捨五入

但し、1 団体あたり年間助成 **上限 10 万円**。

### 4) 出願について

**① WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「印刷費欄 (論集等データ[過年度発行分がある場合のみ]含む)」 ]  
**+② メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ]

※ **上記① [(1)~(2)]、②に入力すべき入力内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。**

## (9) 学部プロジェクト活動費 **事前払い** **上限 150 万円 & 80 万円** \*対象団体制限有

### 1) 対象団体

● 学生部長が認めた団体 (以下の団体)

理工学部プロジェクト団体ロボット技術研究会、理工学部プロジェクト団体内燃機関研究会、  
理工学部プロジェクト団体 RiSA、情報理工学部プロジェクト団体 RiPro、  
情報理工学部プロジェクト団体 RiG++、薬学部プロジェクト団体薬学研究会 (やくけん R)、  
経営学部丹後村おこし活動チーム、京北プロジェクト、法交渉学研究会

### 2) 助成内容

・ 学部プロジェクト団体の年間活動計画にかかる自主的な学習活動 (研究やものづくり活動含む) に要する費用

### 3) 助成上限

1 団体 **150 万円**または **80 万円**を **年間上限**として助成します。各団体の助成年間上限は以下の通りとします。

なお、申請金額が上限金額に満たない場合は、申請額を上限とします。

① 理工学部プロジェクト団体ロボット技術研究会、理工学部プロジェクト団体内燃機関研究会

**150 万円**

② 上記以外の団体

**80 万円**

### 4) 出願について

**① WEB 申請** [ (1)「全費目共通欄」 + (2)「学部プロジェクト活動費欄 (内訳記載含む)」 ]  
**(+ ②メール申請** [ 部長・副部長・顧問 推薦書/当該団体のみ ] )

※ **上記① [(1)~(2)] に入力すべき内容に不足がある場合、出願案件として取り扱いません。②は当該団体のみ申請必須となります。**

### 5) 査定方法

・ 面接を実施し、助成および助成金額を決定します。

・ 面接は、学部プロジェクト活動費で出願のあった全団体に対して実施します。なお面接選考の前に出願内容の確認を行う場合があります。

・ 面接には、代表、会計、提出者のうち、原則として複数名で出席してください。面接では出願内容について説明していただきます。なお、面接員への説明用資料等については以下のとおりです。

**【 面接員への提示資料 】 A4サイズ (PDF) ・最大 6 枚**

<面接日時>

・ **オンラインでの面接選考となります。**

・ 面接時間は約 20 分です。時間等の詳細は後日、出願書類記載の連絡先担当者へ manaba+R でお知らせします。

・ 面接日時: **【衣笠・OIC 学部所属団体】 7/6(月) 15~20 時**

**【BKC 学部所属団体】 7/6 (月)・7/7 (火) いずれも 15~20 時**

・ 面接方法: **オンライン (Skype for Business)**

★ **対象団体は上記日時の予定を必ずあけておいて下さい。練習等への参加よりも面接への出席を優先してください。**

★ **上記のうち参加が難しい日時がある場合は、必ず出願時に連絡してください。**


6) 助成方法

査定結果にもとづき、採用金額を指定口座に振り込む（事前払い）。

助成を受けた**助成金額に残額がある場合は、本大学に戻入すること（最終締切：2021年3月5日（金）17時）。**

7) 助成対象費目

- ①謝礼 ②交通費 ③宿泊費 ④備品費 ⑤材料費 ⑥保険加入料 ⑦運搬費 ⑧施設使用料  
⑨その他必要と判断される費目

助成の対象費目	内容・留意事項																		
① 謝礼	<p>助成金を執行する謝礼の支払い分のみ、大学が諸税処理を行い「20 様式④ 指導実施報告兼指導料請求書」に基づき、指導者名義の指定口座へ直接振り込みます。 謝礼金は課税対象となるため、手取り額に対して 10.21%分の諸税額を上乗せして支払う必要があります。<b>諸税額は採用された助成金から執行する</b>ため、諸税額を含めた予算計画が必要です（支払回数によって謝礼総額が異なる場合があるため、採用額は1000円以下を切り上げた予算総額となります）。</p> <p>[別表2] 参照 例) 支払総額（諸税込） — 諸税 = 指導者の手取り (11,137円) (1,137円) (10,000円)</p>  <p>* 謝礼は税金(=諸税)が引かれるため、指導者が受取る手取りが少なくなります。</p> <p>[別表2] &lt;指導謝礼支払総額算出の例&gt; <b>手取り金額÷0.8979=支払金額（諸税込）</b></p> <table border="1" data-bbox="430 996 1364 1265"> <thead> <tr> <th>謝礼（指導者の手取り額）</th> <th>諸税必要額</th> <th>支払総額（諸税込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000 円</td> <td>1,137 円</td> <td>11,137 円</td> </tr> <tr> <td>20,000 円</td> <td>2,274 円</td> <td>22,274 円</td> </tr> <tr> <td>30,000 円</td> <td>3,411 円</td> <td>33,411 円</td> </tr> <tr> <td>40,000 円</td> <td>4,548 円</td> <td>44,548 円</td> </tr> <tr> <td>50,000 円</td> <td>5,685 円</td> <td>55,685 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 支払総額において小数点以下は切捨てとする。</p>	謝礼（指導者の手取り額）	諸税必要額	支払総額（諸税込）	10,000 円	1,137 円	11,137 円	20,000 円	2,274 円	22,274 円	30,000 円	3,411 円	33,411 円	40,000 円	4,548 円	44,548 円	50,000 円	5,685 円	55,685 円
謝礼（指導者の手取り額）	諸税必要額	支払総額（諸税込）																	
10,000 円	1,137 円	11,137 円																	
20,000 円	2,274 円	22,274 円																	
30,000 円	3,411 円	33,411 円																	
40,000 円	4,548 円	44,548 円																	
50,000 円	5,685 円	55,685 円																	
②交通費	<p>★公共交通機関の利用を原則とします。 ※学割、または団体割引適用の手続きを行ってください。 ※1区間の乗車距離（乗換不可）が100Km以上の場合、自由席特急料金も助成します（指定席特急料金は助成不可）。 ※キャンパスごとに設定された起点駅（衣笠：JR 円町駅、BKC：JR 南草津駅、OIC：JR 茨木駅）から目的地の最寄り駅までの往復交通費。 ※団体として上記拠点駅からプロジェクト実施地までまとまって行動することを原則とします。 ※公共交通機関を原則とし、経済的かつ合理的な経路および方法を交通手段とします。</p> <p>①自動車利用について ・自家用車は禁止。タクシーの利用は原則禁止するが、大型備品運搬を除く備品運搬、交通の便が悪い会場を使用する場合は、事前相談の上、利用を認めることがある。 ・レンタカーの使用は推奨しないが、使用する場合は事前相談の上、保険加入を義務付け、対象とする。（レンタカー代、保険加入料、高速料金、ガソリン代が対象。駐車場代は対象外。）</p> <p>② 飛行機利用について ・運賃に含まれる航空保険特別料金を含む。LCCの荷物料、シートのグレードアップ費用、食事代等、オプションとして追加選択したとみなされるものは対象外。</p> <p>③海外での移動費について ・以下を助成対象とする。 1) 国外に出発した空港までの交通費 2) 国外に出発した空港から目的地のある国で最初に到着した空港までの交通費 ※海外での現地の移動費については対象外</p>																		

③ 宿泊費	①学外指導者・講師：1人1泊 <b>12,000円(税抜)</b> を上限とする。 ②本学学生：1人1泊 <b>7,000円(税抜)</b> を上限とする。 ※いずれも食費は除く。
④ 備品費	・助成を希望する全ての備品の「備品管理リスト」への記載を求める。 ・購入する際は、使途・日常の管理方法・活動後の保管について事前に確認しておくこと。 ・高額備品については、可能な限りレンタルを推奨する。 ※事務消耗品(ペン・紙・ノート・ファイル等)や個人に帰属する備品は対象外 <b>&lt;備品管理について&gt;</b> ・本費目の助成受給団体は、 <b>助成により購入した備品について、次年度以降「備品管理リスト」(毎年4～5月頃に学生部が配布予定)にて確認・更新の上、活用状況について学生部へ報告</b> することを求める。なお、 <b>次年度に基盤活動助成を申請する際は出願時、申請しない場合は6月中に提出</b> することを義務づける。次年度の「備品管理リスト」提出に備え、 <b>紛失等のないよう団体内で備品の管理の徹底</b> を求める。 ・ <b>「備品管理リスト」での必須管理期間は、願書に記載した各備品の「耐用年数分」とする。</b> ・今回の申請団体のうち、 <b>2017年度以降に本費目(備品費)受給団体に「備品管理リスト」をmanaba+Rにて連絡先担当者(WEB申請時の登録学生)に2020年6月中にお送りしますので、2021年3月5日(金)17時の決算締切までに提出してください。</b>
⑤ 材料費	部品や原材料等 ・助成を希望する全て部品・原材料等の「備品管理リスト」への記載を求める。 ・購入する際は、使途・日常の管理方法・活動後の保管について事前に確認しておくこと。
⑥ 保険加入料	イベント・レクリエーション保険等
⑦ 運搬費	大型備品の運搬等(郵便や宅配便などの配送は対象外)
⑧ 施設使用料	当該の活動や企画等を実施するために必要となる施設での使用料
⑨ その他	必要と判断されるもの(審査により対象にならない場合があります)

#### \*助成対象とならないもの

- ・**団体名発行ではない領収書等**(宛名が個人名、記載なし、上様等のものは対象外)
- ・対象費目以外は助成金の対象外。  
例) 飲食費、振り込み手数料・送料等の各種手数料、駐車場代、交際費、事務消耗品等
- ・(学外指導者および講師を除く) 本学学部学生以外(院生や他大学学生等)の個人に係わる交通費や宿泊費等の費用

## 10. 採用発表・採用説明会

### <採用発表>

- ・日時：**2020年7月22日(水) 13時**
- ・方法：**奨学金・助成金制度ホームページ**掲載 <http://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/grow.html/>  
[在学生のページ](#) → [奨学金制度\(学部\)](#) → [課外での成長を支援する奨学金・助成金](#) → [What's new](#)



### <採用説明会>

- ・日時：**2020年7月31日(金) 18時**
- ・場所：採用発表時に「奨学金・助成金制度ホームページ」にてオンラインツールを案内します。
- ※ **オンラインで実施します。採用団体は必ず採用説明会へ出席(少なくとも1名)**してください。

## 11. 助成の取り消し

助成対象団体が以下いずれかに該当するときは、助成を取り消し、助成金の返還を求めることがあります。

- (1) 解散または活動停止の処分を受けたとき。
- (2) 出願書類や成果報告書などに虚偽の記載その他の不正の事実が判明したとき。
- (3) 正当な理由なく、上記「4. 助成対象団体の義務」に定める事項を行わなかったとき。

## 12. 問い合わせ先

**(体育会)** [bkcsport@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bkcsport@st.ritsumei.ac.jp)

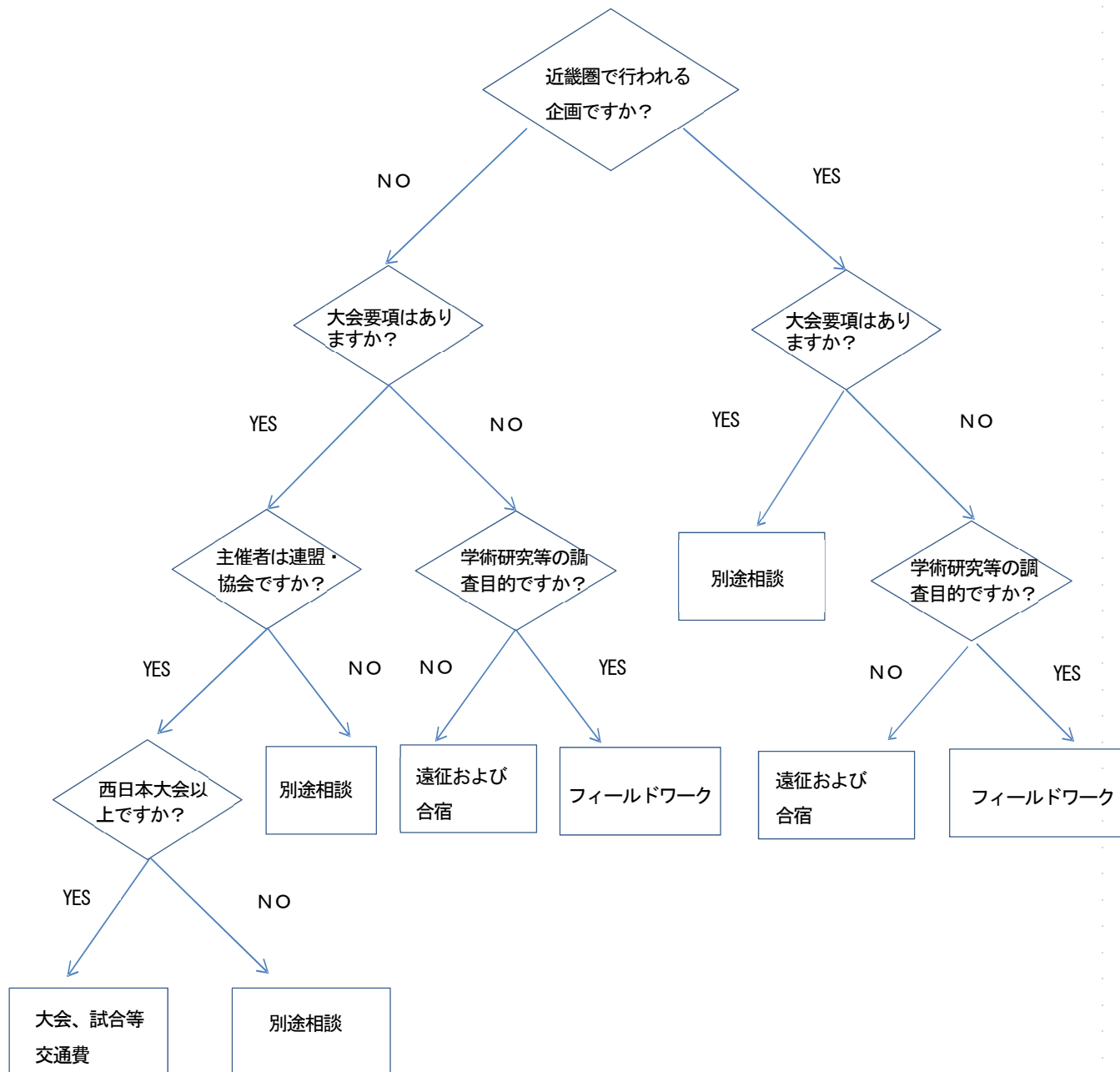
スポーツ強化オフィス(BKC)	アスリートジム1階	077-561-3977	月～金 9:30～17:00 (11:30～12:30 閉室)
-----------------	-----------	--------------	------------------------------------

**(体育会以外)** [bungei@st.ritsumei.ac.jp](mailto:bungei@st.ritsumei.ac.jp)

衣笠学生オフィス	研心館2階	075-465-8167	月～金 9:30～17:00 (11:30～12:30 閉室) ※火曜のみ12:30～
BKC 学生オフィス	セントラルアーク1階	077-561-3917	
OIC 学生オフィス	A棟南ウイング1階	072-665-2130	

【別紙】基盤活動助成 交通費目 出願フローチャート

基盤助成金 交通費  
【大会、試合等、フィールドワーク、遠征および合宿の区分】



\* このフロー図はどの費目でお願するかをわかりやすくするためのものであり、採用を保障するものではありません。